



新城市文化

書 村田華城

編集・発行 新城市文化協会

文化祭関連

◎文化祭（文化展）

P 2

◎文化祭（芸能祭）

P 3

◎着付け体験を企画して

P 4

◎祭礼能の継承と発展事業

P 4

◎新城有教館高校生の皆さんに

参加いただきました

P 5

◎初心者講座小品展に出展して

P 8

◎文化展示に代えて（万葉集卷12～卷16）

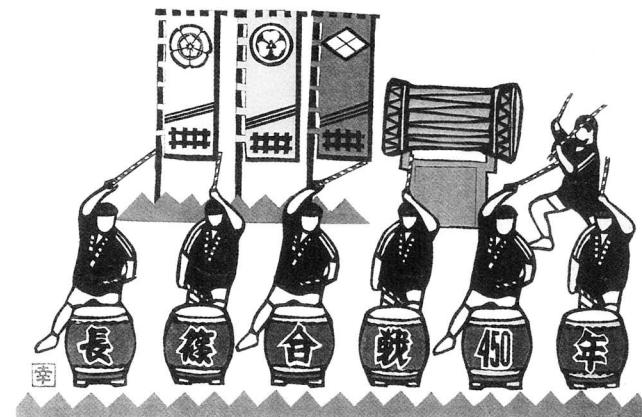
P 7

◎新加入団体紹介（合唱団「なごみ」）

P 5

◎東三云能祭に参加して

P 6



デザイン切り絵 花田 幸三

令和7年度 市民文化祭文化展 開催報告

副会長 金子 賢次(華石)

本年度の市民文化祭文化展が去る

11月1日(土)から3日(月・祝)まで

の3日間にわたり文化会館にて開催

され大勢の市民の方に来場いただい

た。今年は「長篠・設楽原の戦い」

から450年にあたることから各ク

ラブ有志にて戦いに因んだ作品の出

品をお願いし、新城の貴重な歴史遺

産であるこの戦いをしのんだ。

また今回初めての企画として、地

元新城有教館高校美術部、写真部の

生徒さんの作品の出品をお願いし、

若き溢れる力作の数々を楽しんでい

ただけたと思う。近年、日本の伝統

行事が少子高齢化などで担い手不足

の時代になつたと報じられるなかで、

若い人たちの地道な活動の積み重ね

が明日の日本の文化芸術活動への希

望となれば嬉しい。

各会場の割り振りは概ね従来と同

様で発表展示の概要は以下の通り。

1階は101室～103室にて盆

栽双葉会が作品展示と盆栽即売会。

104室および105室にて諸流花

展。盆栽
もお花も
奥が深く
伝統の美
に心洗わ
れた思い。

南側通路
で3年ぶ

りに楽し
みにして

いた菊花
展は夏の

異常気象等のためうまく開花せず本
年度も直前にやむなく中止となつた。

丹精の菊を拝見できなかつたことは
残念だつたが、菊友会諸氏の熱意と

ご苦労に心から感謝したい。



盆栽双葉会展

熱を感じた。302室は俳句展と初
出品の新城有教館高校生徒作品(美
術・写真)展。俳句展は今年も写真
クラブとのコラボ作品の出展。会場
正面の俳句・写真・書道3クラブに
よる「450年」作品が目を引いた。
俳句をビジュアルに楽しむ発表形式
の工夫は

ありがとうございました。新城

有教館高
校の生徒
さんの作
品はさす
がに若々

い夢と



写真クラブ作品展

なくなつた日本の着物の美しさを堪
能した。また、着付け体験では今
は多くの外国人のお嬢さんが晴れや
かな着物姿で各会場を訪問、静かな
会場がパッと明るくなつた。入門講
座小品展は講師のご尽力で書道、パ
ステル画、色鉛筆によるスケッチ作
品の展示。出品者の方々はいわば文
協入会予備軍でいすれば入会いただき
共に活動できる日をお待ちしている。

304室ではしんしろ文化財に親し
む会の展示。会員が分担して調査研
究したもので改めて貴重な市内文化

財に対する認識を深めることができ
た。

まずは、今年の市民文化祭文化展
は無事終了した。ご来場の市民の皆
様、支援いただいた市当局、準備か
ら運営までご苦労いただいた会員諸
氏に厚く感謝申し上げる。

ところで、わが文化協会も新城・
鳳来・作手の3文協合併後早や19年
が過ぎご多分に漏れず年々会員が減
少、合併当初の3分の1を割つてしまつた。少子高齢化、社会のデジタ
ル化等の影響が大きいと思われるが、
会の活動・運営に黄信号が灯つて久
しい。新城の文化を絶やさないため、
会員総力を挙げて今こそ一層奮起が
必要な時だと強く思う。



書道展を見学するきもの着付け体験の留学生等

構想から実写へとカメラにかける情
けで多数の作品が並んだ。
3階は301室にて写真クラブ展。
1階は101室～103室にて盆

栽双葉会が作品展示と盆栽即売会。

104室および105室にて諸流花

令和7年度秋の 市民芸能祭を終えて

副会長 河合 香明



社交ダンス ゆりの会

秋のさわやかな好天に恵まれて、今年も市民芸能祭が開催されました。私も芸能部の責任者になつて2年目になります。もう少しきみんとした事業計画をたてられたはずでしたが、蓋をあけてみれば、なんとミスの多かつたことか。出演者の皆さんにこの場をお借りしてお詫び申し上げます。特に楽屋については、出演者数の多い団体にご不便をおかけしました。もう一工夫あつても良かったと 思います。

さて毎年のことですが、菅沼さんの司会進行でプログラムがスタートします。今年のトップは舞踊研究会の吾妻流闘季の会の新舞踊です。熱演に心を打たれました。

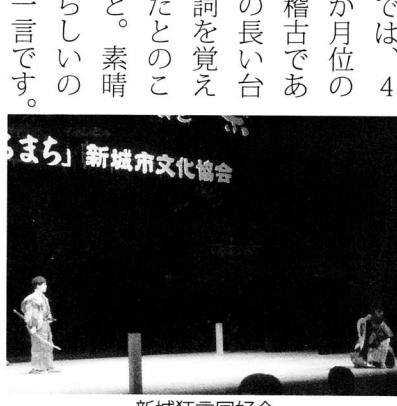
次に登場するの は、今年から私たちの仲間になつた、

新城狂言同好会による「盆山」は小6の二人による演技でした。後継者を育てるには素晴らしい試みであると思います。代表の天野さんの話では、4か月位の稽古であの長い台詞を覚えたとのことです。素晴らしいの一言です。

次は民踊研究会による息の合った踊りです。豊定会、てまり会、豊志慶会の3団体による競演は、観客を中心から楽しませてくれました。

三喜流藤菊会の小山さん、竹下さん、三喜藤菊さんの日本舞踊は毎回のことながら、日本文化を感じる瞬間でもあります。

詩吟クラブでは設楽原の戦い450年にちなんで「鳥居強右衛門」を吟じていただきました。紋付袴姿での演技は素晴らしいです。



新城狂言同好会

社交ダンスゆりの会のメンバーによる華やかな踊りです。男性は燕尾服、女性は色鮮やかなドレスで会場を魅了しました。

前半最後はおことの会、遊志会の琴4重奏です。演奏してくれた「OKOTO」は古典ではないと思いますが素人の私にもわかりやすい曲でした。

KOTOは古典ではないと思いますが素人の私にもわかりやすい曲でした。演奏は「乱」5人の一糸乱れず。演目は「乱」5人の一糸乱れず。演奏は、観客を舞台に釘付けにします。直径1メートル以上はあろうかと思える太鼓を全力で打ち鳴らすのは、どれほどのエネルギーがいるのかと、つい考えてしまいます。残念なことに、この覇城太鼓は今回をもつて解散するとのこと。設楽原の戦いの舞台でもある地で育つた伝統ある覇城太鼓が、今後聴けなくなることは誠に残念至極です。何とか後継者を育てていただき、再びこの舞台に舞い戻ってきていただきたい。心からお願いして、令和7年度秋の芸能祭の感想とします。

ましたが、簡単なことではないですね。

新城狂言同好会による「盆山」は小6の二人による演技でした。後継者を育てるには素晴らしい試みであると思います。代表の天野さんの話では、4か月位の稽古であの長い台詞を覚えたとのことです。素晴らしいの一言です。

次は民踊研究会による息の合った踊りです。豊定会、てまり会、豊志慶会の3団体による競演は、観客を中心から楽しませてくれました。

三喜流藤菊会の小山さん、竹下さん、三喜藤菊さんの日本舞踊は毎回のことながら、日本文化を感じる瞬間でもあります。

詩吟クラブでは設楽原の戦い450年にちなんで「鳥居強右衛門」を吟じていただきました。紋付袴姿での演技は素晴らしいです。



覇城太鼓

新城狂言同好会による「盆山」は小6の二人による演技でした。後継者を育てるには素晴らしい試みであると思います。代表の天野さんの話では、4か月位の稽古であの長い台詞を覚えたとのことです。素晴らしいの一言です。

次は民踊研究会による息の合った踊りです。豊定会、てまり会、豊志慶会の3団体による競演は、観客を中心から楽しませてくれました。

三喜流藤菊会の小山さん、竹下さん、三喜藤菊さんの日本舞踊は毎回のことながら、日本文化を感じる瞬間でもあります。

詩吟クラブでは設楽原の戦い450年にちなんで「鳥居強右衛門」を吟じていただきました。紋付袴姿での演技は素晴らしいです。

フランダンスが始まる前に、衆議院議員の大嶽理恵さんがおみえになり、お祝いのご挨拶をいただきました。総勢90名のフランダンスは、50分の間、次から次へと11曲を演じました。曲ごとに衣装は変わり、観客を飽きさせない工夫が随所にみられました。笑顔で踊ることの大切さを知らされ

きもの体験会

きもの研究会
代表 長谷川順子

私たちきもの研究会では毎年秋に開かれる市民文化展開催中に「無料着付け体験」を行っていますが、今年は新城在住の外国人の方たちに、日本の着物を体験していただく「きもの体験会」を企画しました。急速募集を呼びかけるチラシを作製し、国際交流協会の方にお願いをしたところ、日本語学校の先生をしてみえる方と繋げていただきました。そして思いがけず多くの方から「是非とも着物を着てみたい」と応募をいたしました。皆さん着物に興味がありました。今回応募くださった方たちは日本語学校の生徒さん8名と技能実習生の方4名の合計12名のかわいらしい20代のお嬢さんたちです。出身国はネパール、ミャンマー、ベトナム、フィリピン、スリランカ、中国です。皆さん片言の日本語が喋れます。



着替えです。私たちメンバーの腕の見せ所ですね。そして着付けが済めば今度は若い方たちお楽しみの撮影会です。館内展示を見て回りながらお気に入りの場所でカシャ。写真部さて、初めて着た振袖の感想は？着る前はドキドキしたけど着始めた綺麗。とても楽しかった。すごく嬉しい。機会があればまた着たい。とても喜んでいただくことができました。

能楽協会(新城能楽社) 今泉 英三

この紙面を借りてお詫びと事業の紹介をさせていただきたいと思いま

す。

新城は天正3年長篠・設楽原の戦いから450年となる歴史ロマンあふれる場所でもあります。その戦いで功績のあつた奥平信昌は、翌年の新城の落成祝に觀世与三郎(後の九世觀世右近太夫)を招き、城中二の丸にて祝能を催し、これが新城での能楽の始まりとなりました。

その後の代々の城主による能の愛好もあり、町民の間でも盛んに行われるようになりました。元文元年(1736)には菅沼家3代領主定用公の家督相続を祝つて、富永神社祭礼時に氏子が社前に能(舞囃子)を奉納し、これが例となつて以後毎年(現在は)10月の祭礼の時に能を奉納することになり、「祭礼能」として町民により290年近く継承され

祭礼能の継承と発展事業

能楽協会(新城能楽社)
今泉 英三

てきました。

能装束や能面は寄進などにより当

初からある程度揃っていたようですが、現在は能・狂言装束あわせて2

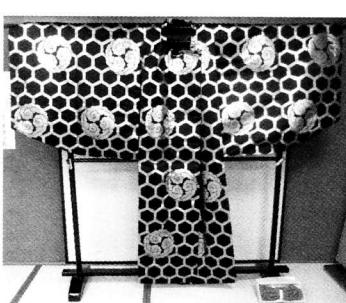
00点ほど、能・狂言面は41面、能舞台も文政9年(1826)から200年ほどになり、演能者とともに

これらが三位一体となってどの一つも欠かさなかつたことは祭礼能が今まで維持できたことの所以です。

しかし、時代経過とともに能装束の損耗により演能への支障が危惧されはじめました。そこで令和元年度を始点に新城自治区地域活動交付金

の活用で代替能装束として「小格子厚ねじ地縫箔」を新調してきました。

今年度新調した「祫狩衣」は大臣・天狗・神役などで使用されるもので紺地の絹に本金を使用した亀甲文様に(三ツ)雲巴の吉祥紋をあてた豪華なものです。これまでのものも祭礼能を継承するための地域の貴重な財産として活用していきます。



祫狩衣：紺地亀甲雲巴文様

写真クラブ・新城有教館高校生の作品展



写真クラブ展示

新城有教館高校生の作品

写真クラブ展示会は、例年より出展数が少し減りましたが、写真に併句が入ったり、ラストランのドクターライエローなど、力作が多く有意義な作品展示ができました。

今年から新たに新城有教館高校写真部の出展もあり、若い学生の目線から見た斬新な作品が話題になりとても良い展示会になつたと思います。

ー来場者の声よりー

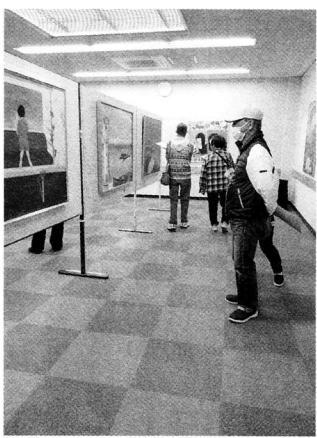
「私たちには想像もつかない題やとりあげる部分にびっくりしました。」

「高校時代の自分を思い出しました。今を楽しんでください。」

「伸びる力、エネルギーをいただきました。これからも、知性感性をみがいて素晴らしい作品を生み出してください。」

「生徒さんの作品に感動しました。長く続けてください。頑張つて。」

改めて「表現」は自分の心との葛藤であることを思い出させてくれました。そして、自分も表現に立ち向かうエネルギーを惜しまずに追求したいものだと思いました。



新城有教館高校生の作品展（美術）

合唱団「なごみ」立ち上げ！

「なごみ」指揮者 豊崎 規正

歌には、器楽はないいくつかの特長があります。その1、楽器を買わなくていい（サイフにやさしい）。

歌には、器楽はないいくつかの特長があります。その1、楽器を買わなくていい（サイフにやさしい）。その2、体が楽器だから、音の感動が体に直接ビンビン響く。その3、音と同時に言葉を言える（ヴァイオリンで言葉は発音できません）。そして、みんなで歌えば楽しさ倍増！それが合唱の魅力です。

世の中に「うまい合唱団」は星の数ほどあります。だから、私はそんな合唱団は作りたくないのです。私が作りたい合唱団とは、「なごみ」という名前が示すとおり、練習に来れば心が和む。練習に来れば心が元気になる。そんな合唱団です。だから、うまい合唱団は目指しません。目指すのはただ一つ。楽しい合唱団です。

そこで入団資格は、以上述べた趣旨に賛同してくれる人。歌はヘタでもOK！ 外国人大歓迎！ 「歌つて目指そう日本語じょうず」。元気じやない人大歓迎！ 「歌つて和めば病氣も退散」！

ちなみに私は、名古屋で小さな混声合唱団（平均年齢76・5歳）を指揮して20年になります。PTAの一

お問い合わせ、入団お待ちしています。

連絡先

080・9495・6573（豊崎）



指揮をする筆者

ラスを指揮していたこともあります。関西に住んでいた頃は、関西学院グリークラブの育ての親、合唱界の重鎮林雄一郎先生が指揮する合唱団に団員として籍を置いていたこともありました。

それらの活動を通して、合唱の素晴らしさを体感する一方で、この素の愛好家にしか親しまれていないことに、残念な思いも抱いて来たのでした。声が出る人ならば、誰でも歌は歌えます。その「誰でもできる」が歌の魅力だと思います。それで、この合唱団「なごみ」を立ち上げることを思いついたのでした。

県文連

民踊研究会 松井 節子

令和7年度愛知県文化協会連合会の東三河部芸能大会が、7月6日（日）豊川市文化会館にて開催されました。

県文連（略して）は、地域文化の振興を図るために、県内32の市町村文化協会の連合体として、昭和50年に設立されました。県内で唯一広域的に組織された総合文化団体です。現在42の協会が加盟しており、傘下には約3万7千人の会員が配属しております。本連合会の主な事業としては、県内5地区で開催する芸能大会、年1回の県民茶会、愛知県美術館ギャラリーで開催する愛知県文連美術展があります。

私たち新城文化協会は東三河部に所属し、この芸能大会に参加・出演させていただいています。



連絡に責任の重さを痛感いたしました。
7月6日
長かつた梅雨も明け、
厳しい暑さの中での出演です。



この5月、春の市民芸能祭を終え
ほつと一息ついたところです。私たち
も年々、歳を重ね、踊りを続ける
ことに意義ありとの思いを胸に頑張
つっているところです。

令和7年度県文連に、新城市文化
協会からは、民踊研究会が出演との
連絡に責任
の重さを痛
感いたしま
した。



午後 6:16



また、私たち民踊研究会は、日本民踊研究会に所属し豊志慶会・豊定

県文連創立50周年記念

プログラム

- 1、(公社)豊川文化協会 コーラス
(いつの日か他 2曲)
2、蒲郡市文化協会 大正琴

豊志慶会の
息の合つた美
しい踊り、し
つとりと踊り
ました。

豊定会の奄
美慕情につき
ましては、豊
定会の会長で



東三支部長を務められていた中島豊定玲先生が、この4月永眠され、先生のふるさと奄美に思いを馳せ、感謝の心で踊りました。

てまり会は、設楽原の古戦場（挿入歌三河武士長篠）を踊りました。今年はあの長篠の戦いから450年という節目の年です。歴史ある新城の過去を学びまた未来への応援歌の気持ちで踊りまし



多くの関係者様スタッフ様のご尽力にて、無事、楽しく踊ることができました。愛知県民のひ路につきました。

◎ 豊志慶会 ～望郷新相馬
 ◎ 豊定期会 ～淡墨桜・飛驒川恋唄
 ～寿づくし～
 ○ てまり会 ～設楽原の古戦場
 (三河武士長篠入り)



(文化展示に代えて)
『万葉集卷12から卷16まで読み終えて』
 古典読書会

例年同様「新城文化」の紙面をいただき、読書会活動の紹介をいたします。

卷12を読んで

米谷 実紀

つたのが三浦佑之著「古事記・再発見」。そこに出でてきた歌が

この巻は「古今相聞往来の歌の下」とい

下」とい卷11と対になつてゐる。

特徴は「羈旅に思いを発せる」とい

う部立があることだ。

霞立つ春の長日を奥廻なく

沼名川の底なる玉 求めて 得し
 玉かも 拾ひて 得し玉かも
 あたらしき 君が 老ゆらく惜し
 も (巻13 3247)

万葉集は実に壮大な巻物である。

この時代の旅の多くは官命や徭役によるものだった。ぼんやりと霞立つ春の長日の果てしらぬ旅路、恋人へのとりとめのない心が伝わつてくる。

現にか妹が来ませる夢にかも

われか惑へる恋の繁きに

「正に心緒を述べたる」の一首だが、

『伊勢物語』伊勢斎宮をめぐる段の、

斎宮が昔男に贈つた歌の元になつた

歌ということで、興味深く読んだ。

1300年も前に生きた人間の生の心に触れられる幸せを感じつつ、いま私は万葉集という深遠なる森の中を彷徨いながら歩き続けている。

卷14を読んで

今泉眞紗子

未詳として短歌のみの230首が収められている。西は遠江、信濃から東は陸奥までの12国の民衆の詠んだ講師の亀甲先生に触発され手に取

卷13からみえるもの

菅 恭世

歌。前半は国名の明らかな勘国歌、後半は不明な未勘国歌となつてゐる。当時の政治や文化の中心は大和であり、都から見れば未開で辺境な地であつただろう。宮廷歌人を中心とした大和の歌と異なる題材の農村の素朴な庶民の歌、心模様である。

稻掲けば輝る吾が手を今宵もか
 殿の若子が取りて嘆かむ
 相聞歌の稻掲き歌であり輝るとは
 あかぎれの意。国守か豪族の家の若子を思う歌。労働のつらさ娘心のあこがれは集団の願望として歌われていたのだろうか。私は幼き頃見たこのある農のあかぎれの手を思い出し、印象深い歌であつた。

翡翠なんてない。沼名川はどこにあるのか?いや架空の地だ」など。松

本清張も「万葉翡翠」という推理小説を書き、その論争の後押しをしてゐる。結局、考古学者による発掘調査で事実は判明するが、それでも権威はなかなか事実に屈しない。万葉集研究の裏側を垣間見た気がする。事実は小説より奇なり!!

卷15 遣新羅のこと 相聞歌のこと

関谷 裕治

遣新羅は、日本が朝鮮半島の新羅に646年から836年に使節を送つたもので、遣わされた一行が難波を出発して瀬戸内海を下り九州能古島・対馬を経由して新羅に向かつたとされ旅の折々の風景に触れ、家族のことを思い、旅のつらさを詠んだ145首がのこされている。神祇官でもあつた中臣宅守と藏部嬬の狭野茅上娘子の神に仕える身の恋愛は許されず、宅守は越前の味真野に流刑となり、天平12年の大赦にも許されることはなかつた。このことは遣新

羅の大使阿倍繼麻呂に随行、外交に失敗した責任は從五位下であつた宅守にも及んでゐるのではないかと、勝手に想像しているところである。

二人の相聞歌は63首あり、「さすだけの大宮人は今もかも人なぶりのみ好みたるらむ」はより理解できる歌である。

卷16を読んで 加藤 勝子

鯨魚取り海や死にする山や死にする死ぬれこそ海は潮干て山は枯れすれ

この作者未詳の施頭歌はさだまさしの歌う「防人の詩」に対する答えのようです。彼の歌は海・山・風・空・春・夏・秋・冬等々超長い詩ですがこの歌に基づいていると思います。

瘦せたる人をわらう歌2首
 石麻呂に吾もの申す夏瘦せに
 よしといふ物ぞ鰐とり召せ
 瘦す瘦すも生けらばあらむを
 はたやはた鰐をとると川に流るな

大伴宿祢家持

土用の丑の日に鰐を食べることは、江戸時代、平賀源内の提案と認識していましたが、奈良万葉の昔から夏瘦せに鰐が食されていたことと、家持の歌が石麻呂を心配しつつも優しさが感じられることが面白いと思ひました。

初心者講座小品展

夏目
京山

今年度の初心者講座書道展の出品者は、29名。昨年同様、色紙展と致しました。漢字、かな、どれも多種多様な作品で一人一人の個性が輝き立派な作品展となりました。多くの方に見ていただき、作品に込められた思いに心めぐらし、楽しんでいただけだと思います。力強い文字、明るい書風、元気な言葉、美しい風景を感じさせる歌など……一心に書く皆様の様子が伝わってきました。

この小さな色紙の中に表現できることは無限です。これからも、その時々に感じたこと、思い付いた言葉を書きとめ表現してみると楽しいですね。家の中に作品を飾り、家族と思いを共有できるといいですね。また少し感じ方が違うのもいいもので



色鉛筆によるスケッチ

講師
吉倉
章雄

手軽に絵を描いてみたいと思つても、紙はアルシユ、絵具はニユートンなどの高級品でなければと言われたら、ちよつと！となる。まず近くのホームセンターで、手に入るもので描いてみるとからはじめてみましょう。

【基礎】という名の【お池】をぐるぐる回りながら【形を見つける力】【画面をつくる力】【表現を工夫する力】などの基礎的な画力をかけていたらと願っています。時には描くより、恥をかくの【かく】になるかもしれません。この講座はいつもチャレンジです。あーでもないこーでもないと話をします。色鉛筆によるスケッチ講座を始めてみました

それに付随して、消しゴム、鉛筆
削りなどいろいろな種類のものがある
ことを発見しました。
生徒さんの持っている道具に私も
勉強させられています。
ヘタでもいい。「心を込めて描こう」
の気持ちを大切に進めていきたいと
願っています。

入門から同好会へ パステル画初心者入門講座

講師 山本 智恵

3度目のパステル画初心者入門講座を受け持った。自身パステル画を学んだことはなく、デザインスクールでの経験を参考としたが、一度目は手さぐり状態だった。

仕事をリタイアし、子育て・介護を終え「さて何か始めよう。」とする方にはまず楽しんで学んでいただくことを第一とした。

「終了後一��けたいか
りですか?」の声に、同好会を作り
終了者以外でも月2回文化会館に足
を運んでもらい、仲間の作品に自身
の創作の刺激を受け、パステル画を
続けていただけたらと思っている。

5回で入門講座は終了となるが、
持続可能ならば、受け皿も大切だと
1年後の皆さん的作品の上達ぶりを
見て思つた。



編集後記

夜は冬を思わせる気温の低下、昼はまだ夏日という異常気温は短い秋を思わせますが、やはり「文化の日」を迎える前後は「文化の秋」という雰囲気が漂い、文協も日程に恵まれ11月1・2・3日の間文化祭（文化展・芸能祭）を実施できました。従つて本号は、文化祭中心の報告（P2・3・4・5）となります。が、新企画も取り入れた活動の紹介もできました。本年度のテーマ「長篠・設楽原の戦い450年」に因んだ工夫が、各展示場や芸能祭の各演出の中にもご覧いただけたと思います。

本年は特に初めての企画として、新城有教館高校美術部・写真部の生徒の皆様に出品展示いただき、その迫力ある表現を観覧の皆様に鑑賞していただきました（P5）。また着物の着付体験には、応募された若い方々の着飾った姿を見ることができました（P4）。初心者講座受講生小品展も初心とは言えない程の充実した展示もあり（P8）。展示に代えた万葉読書会の報告（P7）もご覧ください。文化祭以外でも、東三芸能祭の報告（P6）、また新入会した合唱（P5）の今後の発表にもご期待ください。

新城市文化協会事務局
新城市字下川1の1
23176546